



東村山市民テニスクラブ協議会機関紙

コートとり当番担当クラブ

- 1月: 2月のコート: 東住 A
- 2月: 3月のコート: 美住 A
- 3月: 4月のコート: 本町 A

発行責任者 柳 利夫
住所 東村山市萩山町 5-6-26-301

編集責任者 佐藤多喜男
TEL. 0425-62-2684

明けまして おめでとうございます
今年もよろしく お願いいたします

協議会会長 柳 利夫

会員の皆さん、常日頃お力添えいただいております関係者
団体の皆さんへ、心から新春のお慶びを申し上げます。

旧年中に私たちの日常活動に対し、市体育課の皆さんをはじめ
多勢のお方からお寄せいただきましたご厚意とご支援に対し、
改めて感謝申し上げます。



昨年はいくつかの新しい試みがされました。

例えば、連盟の方では、対柏崎市チームとの対抗戦
のことですが、恒例として9回目は東村山市へお迎えするのが順番
でしたが、柏崎市チームのご希望で、対抗戦のテニスコートを東村山市
との中間地点として、太田先生の別荘のある北軽井沢に8月24・25日
の1泊2日で設定しました。次に、市民テの方では、夏季合宿を毎年
7月下旬に実施していましたが、前回の例11回目は皆さんが既に
おなじみの本井満さん・蝶間林利男さん・高橋克己さんという
素晴らしい3人のコーチをお招きして11月8・9・10日(2泊3日)
山中湖で行いました。

さらに運営の面では、新入会員をも含めたスポーツ保険との
関連で、継続会員の前半期の会費納付期限を従来より1箇月繰り
上げて11月末日にしました。

去る12月8日には81名の新会員を迎え説明会を持ちまし
た。新しい会員の皆さんは、当日お求めいただいた私たちの
"10年誌"を早くお読みいただき、これからの楽しいお付き合い
の程をお願い致します。

最後になりましたが、名誉会長の太田芳郎さんから「私の書いた
テニス教本」を120冊位寄贈したい」とのご好意に感謝申し
あげます。紙面をお借りしてお礼申し上げます。

今年も皆さん共々、気持ちの良いテニスが楽しめますよう、
元気に頑張ってくださいと念じております。

新年に当り御一家皆様様の
御健勝を御祈り申し上げます

降って私方、旧年中の嬉しかった事をお伝えし、近況報告に替えて頂きます。
一、三十二年ぶりの日米テニスクラブ杯試合が、三月八日から京都で行われた際、一九二九年、
私が米主将バンライン(ウインブルドンダブルス三連勝)を破ったのが、是迄の対米
唯一つの金星とのことで、コートで観衆に紹介され、半世紀昔の夢返える。
二、夏季閑居の北軽井沢へ、母校筑波大学テニス部男女三十名、七月八日より一週間
の合宿、毎日出かけて、懸命に練習に励む後輩の姿に、これ亦青春の夢を追う。
三、八月二十三日、東京都下二十五市連盟の四十五名、二泊三日の研修会に来軽。
四、同二十四日、東村山とスポーツ姉妹市の郷里柏崎との交流定期戦のため、両チー
ム合せて七十余名が来軽、私方小山屋へも大勢(柏崎は全員)御立ち寄り下さる。
五、全日本選手権六十周年記念の一環として、九月二十二日決勝の日、今迄の優勝者
の表彰あり、最古参者として、皇太子、同妃殿下御前にて小坂会長より表彰状を戴く。
六、大連時代の教え子、現在内蒙古農牧学院で昆虫学を教える間承守君、四十一年間
私の住所を探して遂に判明、十月二十八日米日感激の再会、師弟の絆は一生不変。
一九八六年一月一日

太田 芳郎
〒189 東京都東村山市萩山町三二二二
電話 〇四二三一九三二二九八一

＜事務局より＞

61年度の各クラブ別会員数及びテニス保険加入者数が
下記の通り確定しました。

クラブ	会員計	継続者	新規加入者	休部者
東住	54	33	11	10
思多	71	55	5	11
本町	74	50	21	3
青葉	44	38	5	1
美住	103	57	39	7
合計	346	233	81	32

※保険加入者 314名 (内訳継続233名,新規81名)

第10回 運営委員会報告

12月8日(日) 12:00~

- (1) 61年度新入会員の受入れ状況について
委員会の開始に先だって 10時からスポーツセンターで
61年度新入会員の入会手続きと説明会を行った。
① 入会者数 81名
② 説明会参加者数 71名
③ 説明会に参加されなかった方々(コートで申込み済の方)
には各クラブの会長より連絡する。
- (2) 太田先生より著書寄贈申し入れの件
表記の件につき柳会長より説明があり、その処分方につ
き検討。
先生の意志を充分継ぐ形で処分することとし各クラブ
の会長が寄贈者リストを作成して来年度(1月)の当委
員会に提出することにした。
- (3) 会員名簿の作成
61年度会員名簿は各クラブの会長が原案を作成し
事務局へ提出(12月20日目標)する。
新名簿は1月中旬に完成予定とする。
- (4) 61年度(第14回)定期総会の件
2月16日(日)開催とすることに決定。
詳細は次回委員会で検討する。
- (5) 指導者講習会開催の件。
- (6) その他
① 休部者に対するガットの配布 → 各行の会長より郵送する。
② 会員の銀行振り込み手続 → 次回(6月)より簡略化する。

以上



昭和60年忘年会 報告

去る12月22日(日)、本会第5集会室にて忘年会が行われました。

多勢の参加者! 計5,60人(と私には思えた)。

各クラブの出し物が次々に披露され、場内はあけから雰囲気急上昇。い

やあどのクラブにもいるお、宴会男(女)が、美生クラブ副会長、青葉クラブ

○崎氏、本町クラブのエプロン教室(と優勝生の武谷・吉永氏)、極めつたは、

思多クラブの独唱「母さんの歌」(?)。K氏とG氏の誓約発表に伴って、

K氏の1人2役の歌(観客に「何かひと言」と言われたので、しれもシラウビ)。

今日の担当は本町クラブ。室内装飾や料理の準備が大変だったと思

います。実に楽しかった。ありがとうございました。それなら、ご苦労さまで

して、本当に。

今回は青葉クラブ主催。時間、あけがな。

文面は、アールより

なるほど! ザ・テニス (13回)

ホレー

オイ! エリマキ君。この頃一歩もサーブも良くはたよたよだから、サーブの後
はネットに出たら。そういわれてエリマキ君は、2人共前に出る平行陣の相
手によく負かされることを思い出し、何か何をもネットにつめることにしました。
ところが、勝率が増す。

ところが、以前には勝つとい
た相手にも負け出す始末。
よくある事です。



そこで、試合内容を分析してみましょう。大半の失敗は、サーブ直後の
ネットに近いローホレーのネットミスとプレースメントの悪さに起因した相手の
逆襲におお先点、この2つといえます。これらのミスの原因は様々である。サー
ブのプレースメントが悪い。ネットへのつめが甘い。従って相手にうまく足下に
ボールを詰められてしまう。その上、足首・膝の曲がり方がよくラケットヘッド
が極端に下がってしまう。など良く現れる現象ですが、ここで問題にしたい
のはラケット面の使い方、即ち面の作り方の失敗からくるミスについてです。

ローホレーの場合には100%ボールが下降中で打球されるので、ネットを
越えるためにはボールを上向きに打ち出さねばなりません。そのために、
ラケットを上向きにするか、ラケット面を下方から上方へ持ち上げるかのど
うからかです。後者はネットのほんの少し下のボールよりもかくひざり下の
ボールではほとんど不可能な動作です。従って前者の面作りが必要となります。

ローホレーの処理の場合、前進したから、下半身を低くし上体を高い位置
から低い位置へと移行する過程で、即ちラケット面が上方から下方への過
程で打球するという動作が現れてきます。その場合、ラケット面が垂直
や下向きに必ずボールは下方に向かわれてしまうからネットは当然とどまり、こ
の事態を救うためにもラケット面を上向きで打つてはならないのです。

(つづく)

指導者講習会のお知らせ

硬直連主催による指導者講習会を下記の通り開催します。

- (1) 日・時・所 2月8(土)・9(日) 9:00~16:00 スポーツセンター
- (2) 講師 本井 満氏
- (3) 定員 30名の予定

参加者は月中旬に決定します。詳細は各クラブ会長に問合せを。